

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	伝統科学と近代科学の相剋		
英文授業科目名	Analytic Study of Traditional Science of East Asia Affected by Modern Science		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐藤 賢一		
居室	東1-713		

公開E-Mail	授業関連Webページ
k-sato@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
日本の科学技術がたどってきた近代化の過程を、特に近世日本の時代状況を踏まえて解説をする。技術史的、産業史的な観点から工学全般を見直すきっかけを得ることを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
教科書：なし 参考文献：講義時に指示する

【授業内容とその進め方】
以下の内容を講義する。 近世日本の鉱山技術 蘭学と洋学

電気通信大学 平成20年度シラバス

徳川吉宗の科学技術政策
日本における電信の黎明
博覧会と科学技術
西南諸藩と東北諸藩の近代化

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出欠(8割以上)とレポート提出(1回)により、総合的に判断する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けず、講義終了時に質問を受け付ける。

【学生へのメッセージ】

【その他】